

令和7年度学校給食用牛乳供給円滑化推進事業のうち学校給食用牛乳供給推進会議の実施結果
(近畿農政局)

府県	滋賀県	
(1) 会議等の名称	滋賀県学校給食用牛乳協議会および 学校給食用牛乳供給に係る 意見交換会	衛生管理基準に関する研修会 ((一社)日本乳業協会主催のHACCP に沿った牛乳衛生 講習会)
(2) 日付	令和7年10月7日	令和7年8月4日
(3) 場所	JA滋賀中央会滋賀県農業教育情報センター 研修室(大津市)	ヒルトンプラザウエスト 会議室 (大阪市)
(4) 参加機関と 人数	滋賀県内市町学校給食課等 (公財)滋賀県学校給食会 県内学乳供給業者 滋賀県教育委員会事務局 滋賀県子育て支援課 滋賀県PTA連絡協議会 滋賀県栄養教諭・学校栄養職員研究会 滋賀県畜産課 全農滋賀県本部(事業実施主体) 計28名	滋賀県内学乳供給事業者 全農滋賀県本部(事業実施主体) 計9名 その他、近畿地域の学乳供給事業者
(5) 議題	・県内酪農情勢および生乳の需給状況について ・滋賀県学校給食用牛乳供給について ・学校給食用牛乳供給推進事業について ・学校給食用牛乳供給に係る意見交換会 ①供給日数と現状の課題について ②配送面について ③ストローレスバック導入について	・牛乳衛生講習会 ・乳協及び行政関連情報について
(6) 概要	・県畜産課から県内の酪農全般に係る情勢報告、令和8年 度学乳供給計画、供給価格決定の方法やスケジュールを 説明。 ・事業実施主体から令和6年度の学校給食用牛乳供給推 進事業実績の報告と令和7年度の学校給食用牛乳供給推 進の説明。 ・意見交換を実施 ①物価高の影響により乳飲料への置き替え等があり供給日 数が減少。栄養面および酪農振興の面でも学乳が重要で あることを共有。 ②配送の効率化のためには納品時間調整等乳業側と学校 側、両者の協力が不可欠。他府県の取組状況等を共有。 ③ストローレスバックについて他府県の導入事例の情報を 共有。	・HACCPに則った衛生管理の基礎について、テキストをもと に江崎グリコ株式会社より説明。 ・牛乳・乳製品の制度改革に係る取り組みや品質事故対策 について、テキストをもとに一般社団法人日本乳業協会より 説明。
(7) 成果	・関係者・学乳供給事業者とで県内酪農情勢や生乳需給 状況、学校給食用牛乳の供給計画、供給日数の確保、配 送体制及びストローレスバック導入等について意見交換を 行い、現状の課題や今後の対応について理解を深めるこ とができた。 ・学校給食用牛乳の安定供給に向けた認識共有を図るとと もに、物流効率化や環境配慮の取組に関する先進事例等 の情報共有を行い、関係者間の連携強化につなげることが できた。	・学乳供給業者が学乳の製造に係る衛生管理について学 ぶことができた。また、実際に起きた衛生事故事例を学ぶこ とで、事故発生時の対応について再点検するきっかけと なった。 ・研修受講後、各自が自己管理チェックリストを実施するこ とにより、研修内容と自社製造工程の再確認を図ることが でき、安全安心な学乳の製造に寄与した。

令和7年度学校給食用牛乳供給円滑化推進事業のうち学校給食用牛乳供給推進会議の実施結果
(近畿農政局)

府県	京都府			
(1) 会議等の名称	第1回学校給食用牛乳供給推進協議会	第2回学校給食用牛乳供給推進協議会	食品衛生研修会	生産工場の視察
(2) 日付	令和7年6月30日	令和8年3月13日	令和7年8月4日	①令和7年6月4日、②令和7年7月28日 ③令和8年3月2日(書面確認)
(3) 場所	雪印メグミルク㈱京都工場 (南丹市)	京都獣医畜産会館 会議室 (京都市)	ヒルトンプラザウエスト 会議室 (大阪市)	府内学乳供給事業者の生産工場
(4) 参加機関と 人数	京都府畜産課 京都市町村教育委員会連合会 京都市教育委員会 京都府学校給食会 京都市学校給食協会 JA全農京都 京都府牛乳協会(事業実施主体) 計11名	京都府市町村教育委員会連合会 京都府教育庁 京都市教育委員会 京都市学校給食協会 JA全農京都 京都府畜産課 京都府牛乳協会(事業実施主体) 計9名	京都府内学乳供給事業者 京都府牛乳協会(事業実施主体) 計9名(うち6名自主受講) その他、近畿地域の協会会員	京都府牛乳協会1名 京都府内学乳供給事業者(①2名、②1名、③1名)
(5) 議題	・令和6年度供給実績、補助金交付状況等 ・令和7年度供給計画、補助金申請状況、一学期実績 ・供給価格決定に至る経緯 ・懸案課題について	・令和7年度 1,2学期供給実績 ・令和7年度から8年度にかけて供給校の動き ・令和8年度供給価格決定に係る経緯について ・令和8年度学校給食用牛乳供給推進事業実施計画 ・話題提供(事業実施主体から)	・乳協及び行政関連情報の説明 ・衛生講習 ① HACCPについて ② 衛生管理の基礎 ③ 教育・訓練とコミュニケーション ④ 工程での衛生・品質管理	品質管理状況確認と改善指導
(6) 概要	・令和6年度供給実績、補助金交付状況等を資料提示。 ・令和7年度供給計画、補助金申請状況等を資料提示・説明。 ・京都府畜産課から令和7年度供給価格決定に係る資料配布・説明。 ・雪印メグミルクから、2025年 5月に発生した学乳風味差異事案に係る資料提示・説明。	・1,2学期の供給実績及び遂行率を資料提示。 ・令和8年度『国産牛乳乳製品 需要・消費拡大対策予算』資料を提示 ・府畜産課から令和8年度-供給価格決定に至る資料提示・説明。 ・令和8年度学乳実施計画を提示し、供給本数、補助単価、新規校供給分を確認。 ・テラブリック紙容器の仕様変更の進捗状況を提示。	2名の講師から、一般社団法人日本乳業協会のテキストに基づき乳協及び行政関連情報の説明。 ① HACCPについて ② 衛生管理の基礎 ③ 教育・訓練とコミュニケーション ④ 工程での衛生・品質管理 と題した内容について講義。	①保健所による衛生監視の立ち合い ②、③保健所による食品衛生監視票、HACCP自己チェックリストの確認。
(7) 成果	・令和6年度供給実績、補助金交付状況等及び令和7年度供給計画を共有。 ・令和7年度供給価格について、紙パック値上げ・燃料費等の上昇による製造費増・労務費増・輸送費増を含むことを説明、出席者の理解を得た。	・2学期までの供給実績本数を確認。 ・令和8年度の供給計画本数、補助金額を確認・共有。 ・令和8年度供給価格について、前年度と同様に紙パック値上げ・燃料費等の上昇による製造費増・労務費増を含むことを説明、出席者の理解を得た。 ・学乳容器の環境対策として、亀岡市との取組の一環で JA農協牛乳-紙パックにはミンシ目入りを採用、令和8年4月から供給開始予定を紹介した。	・HACCP・衛生管理の基礎から工程での衛生・品質管理まで、具体例を含む講習内容はわかりやすく、受講者が現場管理へ応用できるものであった。	・各供給事業者の工場における品質管理状況を確認できた。 ・点数が低い供給事業者は、引続きHACCP研修会の受講と研修内容の現場への反映が必要であること、設備環境の老朽化を確認できた。

令和7年度学校給食用牛乳供給円滑化推進事業のうち学校給食用牛乳供給推進会議の実施結果
(近畿農政局)

府県	大阪府			
(1) 会議等の名称	学校給食用牛乳推進協議会	学校給食用牛乳供給事業 代表者・担当者合同会議	牛乳衛生講習会	学校給食用牛乳供給事業者工場巡回調査
(2) 日付	令和7年10月23日	令和8年3月3日	令和7年8月4日	令和7年5月27日～同年6月18日
(3) 場所	大阪府学校給食会 会議室 (大阪市)	スイスホテル南海大阪 (大阪市)	ヒルトンブラザウエスト 会議室 (大阪市)	府内学校給食用牛乳供給事業者工場
(4) 参加機関と 人数	大阪府(環境農林水産部流通対策室、教育庁教育 振興室) 大阪市教育委員会 大阪府学校給食会 大阪畜産農業協同組合 (一社)大阪府牛乳協会(事業実施主体) 計16名	大阪府内学校給食用牛乳供給事業者 (一社)大阪府牛乳協会(事業実施主体) 計19 名	大阪府内学校給食用牛乳供給事業者 (一社)大阪府牛乳協会 (事業実施主体) 計13名 その他、近畿地域の学校給食用牛乳供給事業者	大阪府(環境農林水産部流通対策室、教育庁教育 振興室) 大阪府学校給食会 市町村校 (一社)大阪府牛乳協会(事業実施主体) 計9工場 47名
(5) 議題	・令和7年度学校給食用牛乳推進事業について ・令和8年度学校給食用牛乳推進事業について	・大阪府学校給食用牛乳供給事業について ・令和8年度学校給食用牛乳供給事業の決定事項に ついて	・HACCP について ・衛生管理の基礎 ・教育・訓練とコミュニケーション ・工程での衛生・品質管理 ・日本乳業協会の講習会について ・小規模事業者衛生管理支援事業について ・牛乳・乳製品の制度改正に係る取り組みについて ・品質事故対策から学ぶ	(調査目的) 学校給食用牛乳供給事業の円滑な実施、乳業事故 等の発生の未然防止、牛乳の安全性確保
(6) 概要	・令和7年度学校給食用牛乳供給推進事業について 報告後、意見交換。 ・府流通対策室よりストローレス対応牛乳パックへの 移行状況及びストローの有償化に伴う市町村におけ る購入状況について報告。ストローレス容器は少しず つ定着しているが、一方で有償ストローを購入してい る市町村もあり、再び容器の改良や変更の要望が出 てくる可能性があることを共有した。 ・令和8年度学校給食用牛乳供給推進事業につい て、府流通対策室から報告。 ・事業実施主体から需要量計画と実績に乖離がある ため、正確な需要量の回答を依頼。 ・府流通対策室より学乳制度の普及啓発活動への協 力を依頼。	事業実施主体から令和8年度学乳供給価格、大阪 府学校給食用牛乳供給事業者認定基準及び統一 仕様等における留意事項について説明。	上記事項について、テキストに沿って、2 名の講師が 具体例を示しながら説明。	府学校給食会とともに、学校給食用牛乳供給事業者 の工場における施設設備、衛生管理、品質管理、配 送車の衛生状況の確認、指導を行うとともに事故等 発生した場合の緊急連絡体制の整備を確認。
(7) 成果	ストローレス対応容器をはじめ、幅広い内容について 意見交換を行い、関係者の理解を深めることができ た。	配送の効率化には市町村側の体制整備が不可欠で あることから、引き続き、市町村側の協力を求めてい くことを共通認識として確認。	・工程での衛生・品質管理について、事故事例をもと に安全安心な製品を製造するために必要な管理ポイ ントを再確認することができた。 ・小規模事業者衛生管理支援事業では、現場での 改善指摘例の他に好事例として Good Point の情報 も知ることができた。	各工場の衛生面及び配送状況のチェックを行い、牛 乳の製造過程も市町村と契約している府学校給食会 に確認及び供給実態を把握してもらえた。後日、検 査結果において府学校給食会からの改善要望事項 はなかった。

令和7年度学校給食用牛乳供給円滑化推進事業のうち学校給食用牛乳供給推進会議の実施結果
(近畿農政局)

府県	兵庫県			
(1) 会議等の名称	学校給食用牛乳供給事業協議会 (第1回)	災害・事故発生時の委託製造に係る調査	衛生管理講習会	学校給食用牛乳供給に係る危機管理講習会
(2) 日付	令和7年6月9日	令和7年6月17日～7月4日	令和7年8月4日	令和7年8月21日
(3) 場所	森永乳業株式会社神戸工場 (神戸市)	メールによる調査	ヒルトンプラザウエスト 会議室 (大阪市)	楠公会館 (神戸市)
(4) 参加機関と 人数	(公財)兵庫県スポーツ協会 兵庫県学校栄養士協議会 兵庫県酪農農業協同組合 ハイクオリティミルク農業協同組合 兵庫県教育委員会事務局 神戸市教育委員会事務局 兵庫県農林水産部畜産課 計15名	調査実施者:兵庫県牛乳協会(事業実施主体) 調査対象者:兵庫県内学乳供給事業者(6社)	兵庫県内学乳供給事業者 兵庫県牛乳協会(事業実施主体) 計8名 その他、近畿地域の学乳供給事業者	兵庫県内学乳供給事業者 兵庫県内配送事業者 兵庫県牛乳協会(事業実施主体) 計12名
(5) 議題	・学校給食用牛乳供給推進事業の概要について ・令和6年度学校給食用牛乳供給実績について(供給実績、警報等による休校の状況) ・令和7年度学校給食用牛乳供給計画について(供給計画画および供給区域、統一仕様、市町等からの要望等) ・令和6年度学乳事業の実績及び令和7年度学乳事業の実施計画、補助単価の見直しについて ・(一社)日本乳業協会の食育事業の紹介等	(調査目的) 災害や事故発生時、緊急時における本事業の円滑な実施のため	①衛生講習(衛生管理の基礎) ・HACCPについて ・衛生管理の基礎 ・教育・訓練とコミュニケーション ・工程での衛生・品質管理 ②日本乳業協会及び行政関連情報	①講演:食品工場は「安全」だけでは不十分 ②意見交換 ③情報提供:「学校給食用牛乳等供給推進事業における事故時対応マニュアル」について
(6) 概要	・学校給食用牛乳の供給に係る実績および計画、納品に係る県作成の統一仕様(納品時間、衛生条件等)の見積条件)、学校等からの要望と対応について資料に基づき説明。	(調査内容) ・製造可能本数、供給本数、代替供給可能本数 ・製造日(前日製造・前々日製造)の状況 ・配送方法(自社・委託・販売店) ・配送用クレートの規格 ・委託製造の受入可能時間 ・緊急連絡先	・HACCP全般について ・小規模事業者におけるHACCP対策について 衛生管理の基礎、危害因子、食中毒の発生状況等についての解説と日々の記録の重要性について説明。 ・牛乳に係る容器・LL牛乳に係る規制緩和の状況等、制度改正に係る説明。 ・日本乳業協会が実施する衛生関係指導事業の概要説明。	・県外において製品の回収事案があり、関係行政機関への通報が遅れたことから問題が拡大したことを受けて、県内学乳供給事業者の危機管理の意識向上のため講習会を開催。 ①高度な施設やHACCP認証を取得しても、それを行使する人の意識が高く職場内での統一が取れていないと事故につながる危険性が高いとの説明。携わる人の意識向上が重要 ②特になし ③県牛乳協会と県畜産課で作成した「学校給食用牛乳等供給推進事業における事故時対応マニュアル」の内容を説明し、周知を図った。
(7) 成果	・学校給食用牛乳の供給状況、市町等からの要望、学乳事業における補助単価等、学乳事業全般における状況を協議会構成員に了解いただいた。 ・併せて森永乳業株式会社神戸工場の見学を行い、学校給食用牛乳の生産現場を協議会構成員に見てもらったことにより、学乳製造管理の実態を理解いただいた。	・事業実施主体において、供給業者における製造可能本数、代替供給の余力等を把握し、災害や事故等の発生時に実施する委託製造に係る情報を整理できた。 ・緊急連絡先など、災害・事故対応に必要な情報について関係者間で共有できた。	・すべての食品等事業者がHACCPに基づく衛生管理に取り組むにあたり、HACCP理念の解説と、特に中小乳業者が取り組むにあたっての姿勢が明らかになった。 ・技術的な面については、基礎的な部分から丁寧な説明がなされ、理解を深めた。	供給事業者、配送事業者の危機管理に対する意識づけが図られ、事故発生時の問題拡散防止につながるものと考えられる。

令和7年度学校給食用牛乳供給円滑化推進事業のうち学校給食用牛乳供給推進会議の実施結果
(近畿農政局)

府県	兵庫県		
(1) 会議等の名称	学校給食用牛乳供給推進事業に係る説明会	学校給食用牛乳供給推進協議会 (第2回)	牛乳工場現地調査
(2) 日付	令和8年2月3日	令和8年3月16日	令和7年5月～令和8年2月
(3) 場所	リモート開催	書面開催(資料配付)	県内学乳供給事業者 生産工場
(4) 参加機関と 人数	兵庫県内学乳供給事業者 兵庫県農林水産部畜産課 兵庫県牛乳協会(事業実施主体) 計12名	(資料配付先) (公財)兵庫県スポーツ協会 兵庫県学校栄養士協議会 兵庫県PTA協議会 兵庫県酪農農業協同組合 ハイクオリティミルク農業協同組合 兵庫県教育委員会 神戸市教育委員会 兵庫県農林水産部畜産課 計8機関	兵庫県内学乳供給事業者 指導機関(雪印メグミルクビジネスソリューション株式会社) 兵庫県牛乳協会 計3か所(延べ5か所)
(5) 議題	・令和7年度学校給食用牛乳供給事業の実施状況について ・令和8年度学校給食用牛乳供給事業の推進について(事業の概要、事業スケジュール)	・令和7年度学校給食用牛乳供給推進事業の実施状況(供給計画、実績及び遂行状況)について ・令和8年度学校給食用牛乳事業供給計画(実施スケジュール、供給に係る統一仕様、供給計画量、区域、供給事業者、保護者負担額及び市町教育委員会等からの要望事項)について。 ・令和8年度学校給食用牛乳供給推進事業について	①雪印メグミルク㈱神戸工場 ・学校給食用牛乳生産の状況について ・工場閉鎖後の学校給食用牛乳の供給計画について ②その他学乳供給事業者 生産工場 ・牛乳工場における衛生管理の点検
(6) 概要	・事業実施主体から、令和7年度学校給食用牛乳供給推進事業の実施状況と令和8年度実施計画について説明。 ・学乳全国会議で提供を受けた資料に基づき、学校給食無償化の動き、および文部科学省から学校に向けた、学乳の配送効率化や風味変化への対応に係る通知の状況を説明。	上記事項の資料を送付し、閲覧確認及び意見を求めた。 (特に意見無し)	(調査内容) ①雪印メグミルク㈱神戸工場がR7年度限りで閉鎖するにあたり、R8年度以降の供給についての意向を確認。神戸工場で受け入れていた兵庫県の生乳については、京都府の池上工場に集約し、当該工場から兵庫県へも供給が可能と確認。 ②学校給食用牛乳の製造工場にて、製造・衛生管理の状況、各工程における記録の記帳の状況について雪印メグミルクビジネスソリューション(株)とともに立ち入り検査・確認。 7月の指摘事項を12月及びR8年2月に改善状況の確認。
(7) 成果	議題について県関係機関、学乳供給事業者との間で情報共有が図れた。	・令和7年度の学乳事業実績(遂行状況)及び令和8年度の実施計画、市町等からの要望について、協議会構成員に周知するとともに現状の認識を共有することができた。	・兵庫県における学校給食用牛乳の安定的な供給体制の維持が可能となる。 ・衛生的な製造管理体制の徹底により、学校給食用牛乳を事故なく供給することが可能となる。

令和7年度学校給食用牛乳供給円滑化推進事業のうち学校給食用牛乳供給推進会議の実施結果
(近畿農政局)

府県	奈良県	
(1) 会議等の名称	学校給食用牛乳供給推進会議	牛乳衛生講習会
(2) 日付	令和7年6月13日	令和7年8月4日
(3) 場所	ホテルリガール春日野 会議室 (奈良市)	ヒルトンブラザウエスト 会議室 (大阪市)
(4) 参加機関と 人数	奈良県食農部畜産課 奈良県教育委員会事務局 体育健康課 奈良県学校給食会 奈良県学校栄養研究会 奈良県PTA協議会 奈良県畜産農業協同組合 奈良県内学乳供給事業者 奈良県牛乳協会(事業実施主体) 計19名	奈良県内学乳供給業者 奈良県牛乳協会(事業実施主体) 計5名 その他、近畿地域の学乳供給事業者
(5) 議題	・令和6年度学校給食用牛乳供給推進事業実績及び令和7年度学校給食用牛乳供給推進事業実施計画について ・配送の効率化(配送効率化調査結果報告)	・牛乳衛生講習会 ・(一社)日本乳業協会及び行政関連情報について ・参加者に対する衛生講習会「理解度チェック問題」の実施 ・HACCPの考えを取り入れた衛生管理、自己チェックリストでの製造工程点検
(6) 概要	・令和6年度学校給食用牛乳供給推進実績及び令和7年度学校給食用牛乳供給推進実施計画について資料に基づき説明。 ・配送の効率化調査の結果を報告。前日配送可が多数を占めたが、隔日配送と給食センター一括方式は不可が多数であった。可が多かった前日配送でも受注対応や納品時間の調整、冷蔵庫の故障時や停電時の対応等課題が多く、継続協議することとなった。 ・供給計画本数の精度向上について各市町村で対応いただいたことを報告。	・講師2名からテキストを基に以下について講習・説明。 1. 衛生講習 ① HACCPについて、② 衛生管理の基礎、③ 教育・訓練とコミュニケーション、④ 工程での衛生・品質管理 2. (一社)日本乳業協会の事業説明・行政関連情報 ① 協会講習会についての説明及び小規模事業者衛生管理支援事業による現場での改善指摘例と好事例② 行政関連情報の提供と説明、③ 品質事故対策を過去事例を基に検証 3. 「理解度チェック問題」の実施 4. HACCPの考えを取り入れた衛生管理 自己チェックリスト
(7) 成果	・令和6年度事業実績及び令和7年度事業計画について、協議会で承認された。 ・配送の効率化について調査を行った結果、課題が明確になり、課題が多いことから継続協議することを確認した。	・衛生管理の徹底、周知を図り、参加者の衛生講習会理解度チェックを行うことによって、更なる徹底・周知を行った。 ・(一社)日本乳業協会の講習会等の事業及び行政関連情報の共有を行った。 ・供給事業者が、自己チェックリストでの製造工程点検を行うことにより、自己の衛生管理状況及び取り組み状況を客観的な視点により確認することができた。

令和7年度学校給食用牛乳供給円滑化推進事業のうち学校給食用牛乳供給推進会議の実施結果
(近畿農政局)

府県	和歌山県			
(1) 会議等の名称	学校給食用牛乳供給推進会議 (第1回)	牛乳衛生講習会	牛乳飲用に関する実態調査	学校給食用牛乳供給推進会議 (第2回)
(2) 日付	令和7年5月9日	令和7年8月4日	令和7年7月30日,8月25日	令和8年2月2日
(3) 場所	県民文化会館 (和歌山市)	ヒルトンプラザウエスト 会議室 (大阪市)	学童保育所 (田辺市)	県民文化会館 (和歌山市)
(4) 参加機関と 人数	和歌山県畜産課 和歌山県健康体育課 和歌山県学校栄養士研究会 和歌山県農業協同組合連合会 和歌山県牛乳協会(事業実施主体) 計7名	和歌山県内学乳供給事業者 和歌山県牛乳協会(事業実施主体) 計4名 その他、近畿地域の学乳供給事業者	紀南家畜保健衛生所 和歌山県畜産課 畜産協会わかやま 和歌山県牛乳協会(事業実施主体)計5名 その他、学童保育所小学生	和歌山県畜産課 和歌山県健康体育課 和歌山県農業協同組合 和歌山県学校栄養士研究会 和歌山県内学乳供給事業者 和歌山県牛乳協会(事業実施主体) 計11名
(5) 議題	・令和6年度学校給食用牛乳供給推進事業実績について ・令和7年度学校給食用牛乳供給推進実施計画について ・意見交換	・HACCP について ・衛生管理の基礎 ・教育・訓練とコミュニケーション ・工程での衛生・品質管理 ・乳協及び行政関連情報	・牛乳について ・動画鑑賞 ・牛の乳しぼり疑似体験	・令和7年度学校給食用牛乳供給推進事業の中間報告及び事業評価について ・令和8年度学校給食用牛乳供給推進事業計画について ・意見交換(配送の効率化の検討含む)
(6) 概要	・令和6年度学校給食用牛乳供給推進事業実績について報告、令和7年度学校給食用牛乳供給推進実施計画について説明。 ・配送の効率化に向けた取組計画、取組状況、取組結果を次回までに提出を依頼。 ・ドライバー確保が困難な中の配送の現状と課題、他飲料への置き換えや休校・学級閉鎖による供給本数と計画本数との乖離等について意見交換を実施。	・講師2名からテキストを基に以下について講習・説明。 1. 衛生講習 ① HACCPについて、② 衛生管理の基礎、③ 教育・訓練とコミュニケーション、④ 工程での衛生・品質管理 2. (一社)日本乳業協会の事業説明・行政関連情報 ①小規模事業者衛生 管理支援事業について、 ② 牛乳・乳製品の制度改正に係る取り組みについて③ 品質事故事例の経緯、背景、対応等 3. 「理解度チェック問題」の実施	・小学生を対象に県職員による講義、動画鑑賞及び乳しぼり疑似体験を実施、牛のえさ等を鑑賞した後、アンケートに答えてもらい、パンフレットの配付により風味変化の理解を深めてもらった。	・令和7年度学校給食用牛乳供給推進事業(1学期・2学期の執行状況及び事業評価)について報告、令和8年度度学校給食用牛乳供給推進事業計画を説明。 ・配送業者から配送の効率化の取り組み状況について説明。隔日配送、早朝配送、LL牛乳の使用、前日配送を計画しているが、冷蔵庫の収容能力やセキュリティ、検品等問題点が多く、先に進んでいないとの報告。 ・給食の無償化や物価高による学乳への影響について意見交換を実施。
(7) 成果	・令和7年度実施計画の説明により、事業を円滑に実施することができた。 ・学校用牛乳の供給にかかる現状と課題について関係者間で共有できた。	・HACCP に沿った衛生管理の講習会及び講習会後の自己チェックリストを通してHACCP の周知の徹底を図ることができた。 ・日本乳業協会による行政関連情報で新たな品質事故の事例を挙げて記録の重要性及び検査の正確性を学んだ。	・講義等により牛乳の知識や理解を深めてもらうとともに、アンケート調査により牛乳飲用の実態を把握した。	・計画策定・課題等の協議・検討により円滑に事業を実施できた。 ・配送効率化のための課題を関係者間で共有し、様々な問題点を話し合うことにより、学乳の存続及び食育の大切さを関係者で再認識した。